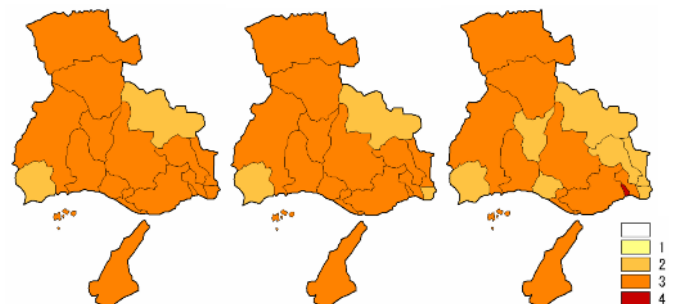
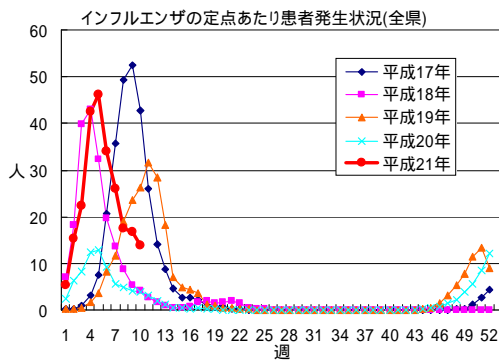
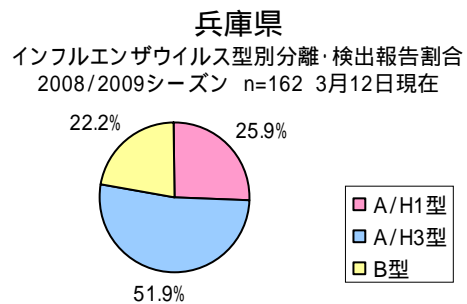
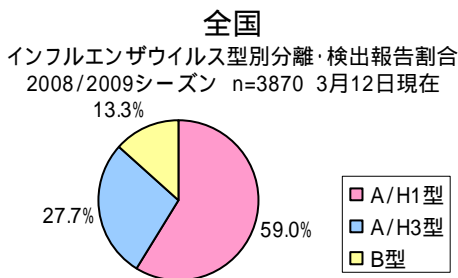


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### インフルエンザ情報

今週、定点あたりの患者数は減少し、**13.91 人** (先週 16.81 人) となりました。流行のピークは過ぎたようですが、シーズン後期には B 型の流行がみられることがあり、今後も注意が必要です。県内の学級閉鎖等の状況は、第 9 週の集計で 130 施設 (第 8 週 124 施設)、欠席者数 1,309 人 (同 1,325 人) となっており、学級閉鎖施設数が増加しました。3 月 12 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 2,284 件、A/H3 (A 香港) 型 1,072 件、B 型 514 件となっていて、A/H1 (A ソ連) 型の検出数が半数以上を占めています。県内では A/H1 (A ソ連) 型 42 件、A/H3 (A 香港) 型 84 件、B 型 36 件が検出されていて、依然として A/H3 (A 香港) 型の検出が最も多くなっています。

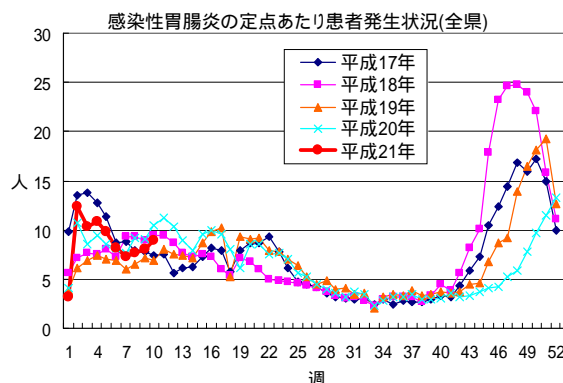


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

### 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

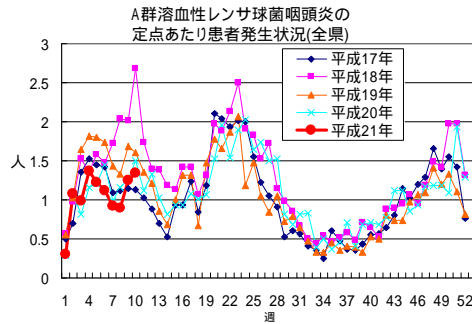
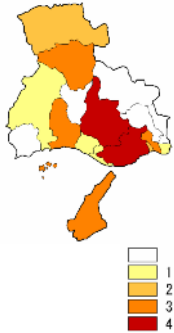
#### 感染性胃腸炎

患者数が 3 週連続で増加しました。冬期の病原体はノロウイルスであることが多いと考えられますが、これから春に向かってロタウイルスも増加するといわれています。



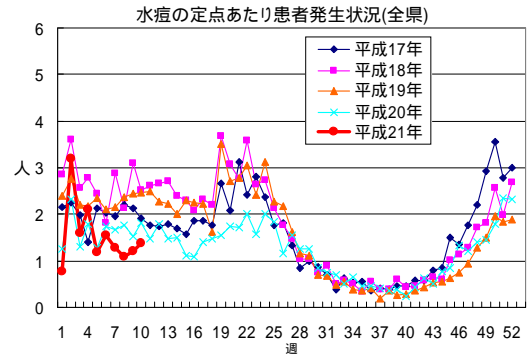
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週も患者数が増加しました。冬期に流行がみられ、学童期の小児に多い感染症です。神戸市、社保健所管内での報告数が多くなっています。



## 水痘

今週も患者数が増加しました。例年より患者数が少ないですが、例年冬期から6月頃まで流行がみられる感染症で、もうしばらく注意が必要です。



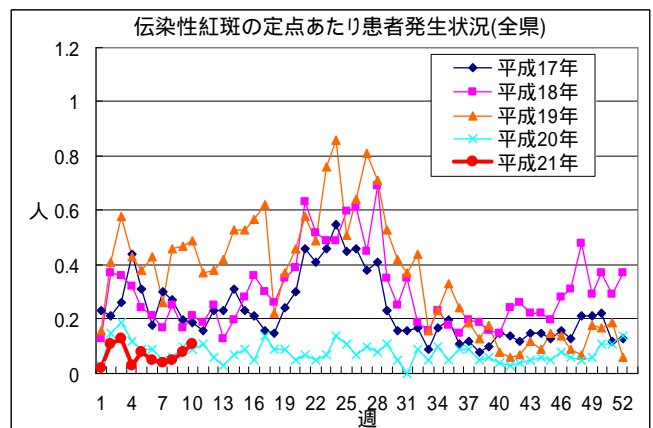
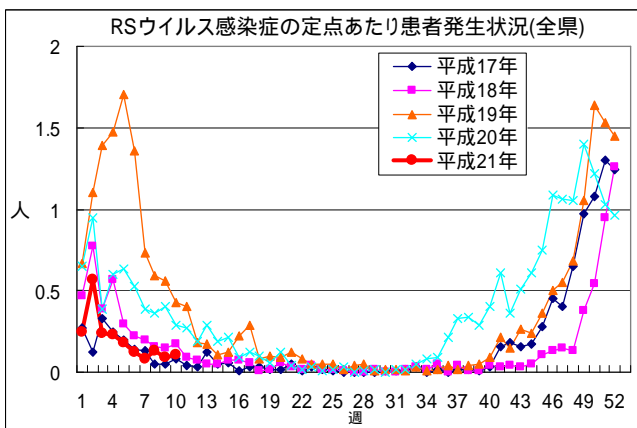
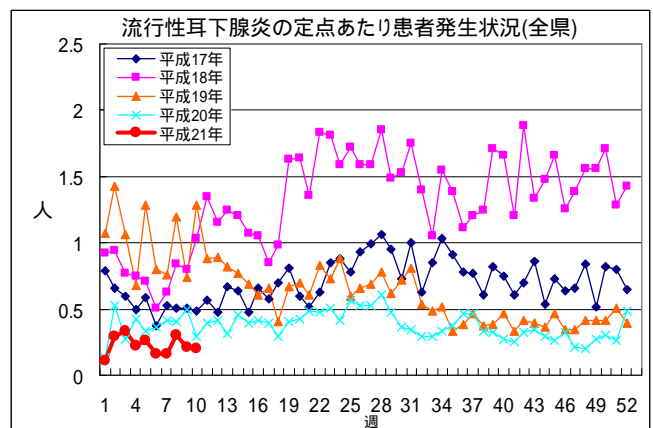
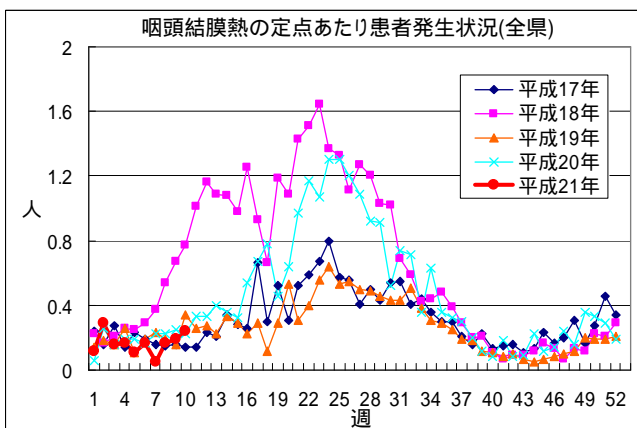
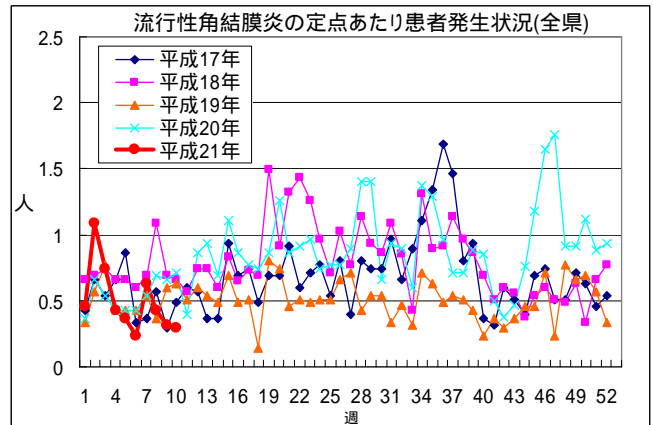
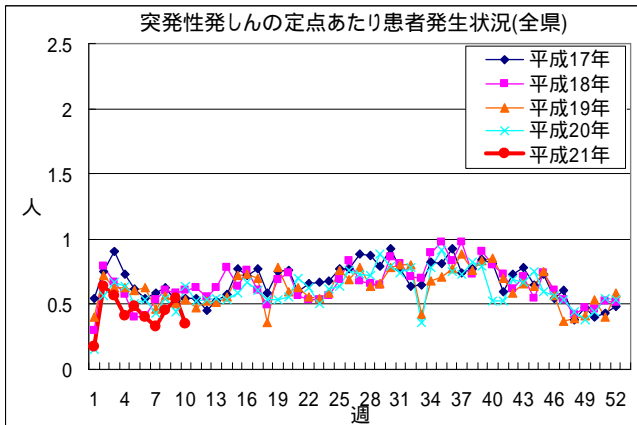
## 定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	13.91	16.81	- 2.90	6位	流行性角結膜炎	0.29	0.31	- 0.02
2位	感染性胃腸炎	8.93	7.98	+ 0.95	7位	咽頭結膜熱	0.24	0.19	+ 0.05
3位	水痘	1.38	1.20	+ 0.18	8位	流行性耳下腺炎	0.20	0.21	- 0.01
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	1.25	+ 0.09	9位	RSウイルス感染症	0.11	0.09	+ 0.02
5位	突発性発しん	0.35	0.55	- 0.20	9位	伝染性紅斑	0.11	0.08	+ 0.03

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 14名（神戸市7名、尼崎市2名、姫路市1名、西宮市1名、伊丹保健所管内2名、龍野保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 2名（姫路市1名；第9週、西宮市1名；第8週） 後天性免疫不全症候群 1名（第9週/AIDS）

## 目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。